

工藤 充子氏 資料

地域ネットワークで支える虐待未然防止活動

長岡京市子育て支援ネットワーク

代表 工藤充子

地域環境や家族のあり方の激変（少子高齢化・核家族化・近隣関係の希薄化・長引く不況など）は、家族の生活の基盤を揺るがし、子育て中の親子も若者も高齢者も多くが孤立を余儀なくさせられています。生きることが大変苦しい人が増えています。

そんな中で、2006年10月にわが長岡京市では幼い命を餓死させてしまう事件が起きました。住民こぞって反省した痛ましい事件です。

この事件を契機に、小さな子育て支援の6団体が虐待を防ぐために、「なにをすればいいのか」「できることをしたい」と学習を始めました。長岡京市の保健師やこども福祉課の職員、主任児童委員、京都府の保健所も同じテーブルに着きました。

それぞれの団体は、親子の居場所や託児所や子どもの広場、親子教室などの活動をしています。そこに虐待を防止する活動を取り入れようとネットワークを組み、本来の活動に理念や具体的な支援を加えれば、虐待を水際で防止できるのではないかと考えたのです。

ネットワークで始めた活動をご紹介します。

1 ネットワークに子育てに苦しむ親子を紹介してくれる機関や団体

ネットワークに「こんな親子に支援はできないのか」と紹介されるのは、市の保健師、こども福祉課が中心ですが、ネットワークを利用する親子の中で必要だと思えば、団体自身からの紹介もあります。

2 親子への支援内容

(1) お宅に何う支援

子育てや沐浴などの手伝い
親への寄り添い、相談
食事作りや家のかたづけ、掃除

(2) 各団体での親子の受け入れ

子どもの一時預かり、居場所や広場への参加
子育て教室
親子の専門相談

(3) 親の学習

前向きに子育てができるよう小グループでの学習

(4) 支援の必要な親子

| | |
|-----|---|
| 親 | うつ状態、心身の病気、親の成育歴、家族関係など |
| 子ども | 双子、三つ子、未熟児、先天的疾患、育てにくい（よく泣く、多動、親の言うことを聞かない） |

このような事業は国の事業としてすでにあります。

しかし、支援の必要な親子の実態に合わせて、ここまで支援内容の選択肢を広げた事業となってはいません。また、団体同士がネットワークを組んで取り組んでいる例はないように思います。

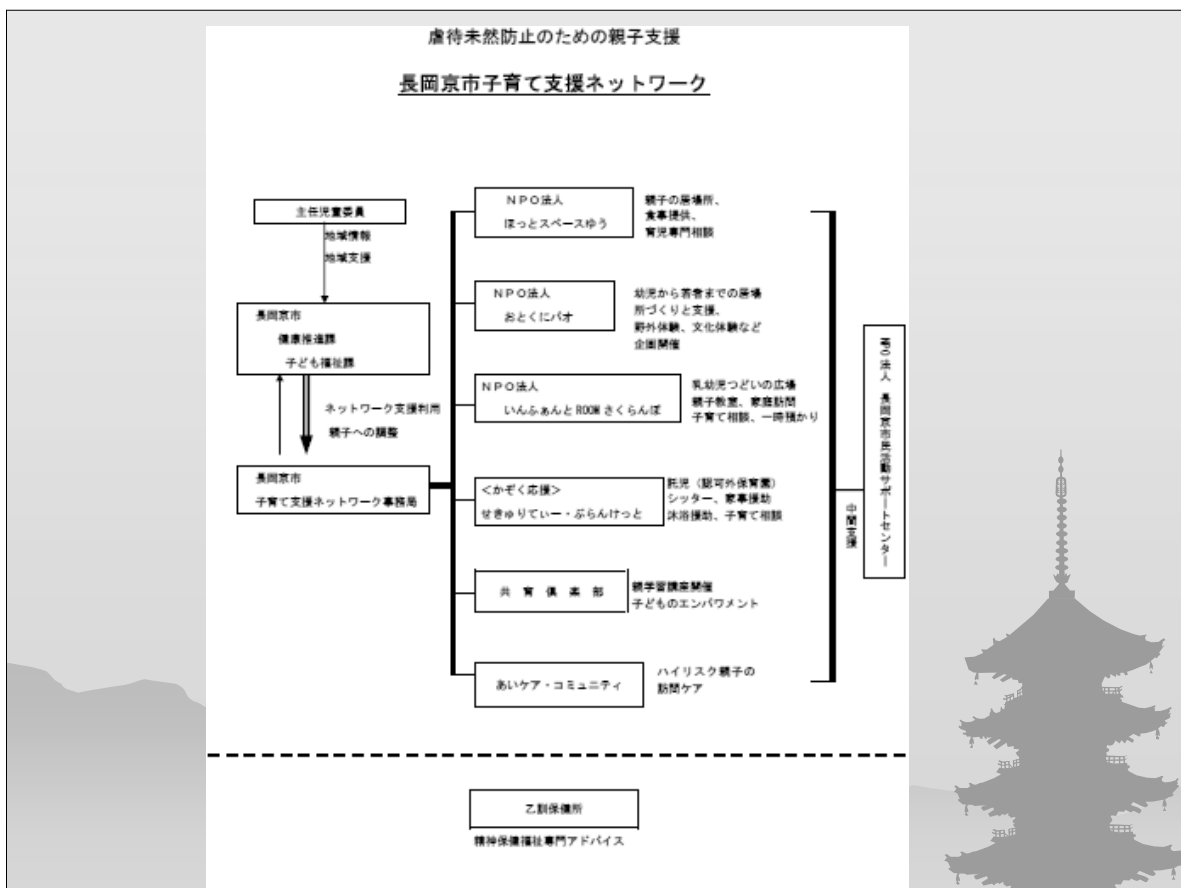
23年度、24年度は、ネットワーク独自の取り組みとして、京都府の助成を受けて実施しましたが、25年度、26年度は長岡京市が予算化し、ネットワークの各団体に委託する事業となりました。

障害や高齢者には、法的な具体的な支援がありますが、虐待防止やすでに虐待が起こっている家庭に、子ども、親、家庭を網羅して支援する法的なとりくみが必要ではないでしょうか？

子育て支援のNPOや団体、親自身のサークルなどさまざまな子育て団体が各地で活動を広げている状況の中、どの地域でも、虐待を未然に防ぐ活動を市民の手で広げていってほしいと望んでいます。

児童虐待予防の水際作戦

長岡京市児童虐待防止アドバイザー
 NPO法人ほっとスペースゆう理事長
 長岡京市子育て支援ネットワーク代表
 工藤 充子



長岡京市子育て支援ネットワーク 関係団体の紹介①

NPO法人ほっとスペースゆう



いずみの家サロン室での食事風景

長岡京市子育て支援ネットワーク 関係団体の紹介②

NPO法人おとくにパオ



西山山中に一山借りて森林体験

長岡京市子育て支援ネットワーク 関係団体の紹介③

＜かぞく応援＞せきゅりていー・ぶらんけつと



地域親子とレインボーハウスの子ども達

長岡京市子育て支援ネットワーク 関係団体の紹介④

NPO法人いんふぁんとroomさくらんぼ



ベビーマッサージ

長岡京市子育て支援ネットワーク 関係団体の紹介⑤

共育(ともそだち)倶楽部



楽しく子育てをするコツはね・・・グループワーク風景

H23・24年度 個別支援活動実績

23年度 7月～3月 9ヶ月間
24年度 4月～3月 12ヶ月間

2年間 27組/389回

子 多胎児/4人以上 10組

母 孤立、精神的・身体的問題
経済的困窮

子育て困難の要因は、
虐待事例に非常に近い条件

| | | 23年度 | 24年度 | | |
|------------------------------|------------------------------|--------------------|-------------------|--------------|------|
| 全体像 | 支援対象者 | 13組 (観13人/子21人) | 17組 (観16人/子3人) | 27組 (2年継続3組) | |
| | 支援回数 | 174回 | 215回 | | 389回 |
| 紹介者 | 担当 団体 | ゆう | 6組 43回 | 5組 21回 | |
| | | さくらんぼ | 3組 59回 | 8組 87回 | |
| | | ふらんけっと | 4組 42回 | 5組 90回 | |
| | | あいケア | 2組 30回 | 1組 17回 | |
| 紹介者 | 健康推進課 | 9組 | 4組 | | |
| | こども福祉課 | 0組 | 2組 | | |
| | 団体 | 4組 | 11組 | | |
| 年齢 | 20代 | 3 | 4 | | |
| | 30代 | 6 | 9 | | |
| | 40代 | 4 | 3 | | |
| | 母なし | | 1 | | |
| | 親側の 子育て 困難要因 (重複あり) | 多胎児等子どもの 人数が多い | 4 | 7 | |
| 孤立・親族からの 支援がない | 8 | 8 | | | |
| 精神の疾患・過度 なストレス | 9 | 10 | | | |
| 身体の疾患・妊娠 中 | 5 | 4 | | | |
| 若年での妊娠 | 1 | 1 | | | |
| 高齢出産 | 3 | 1 | | | |
| 母子or父子世帯 | 1 | 3 | | | |
| 経済困窮 | 1 | 4 | | | |
| 育児知識の著しい 欠如 | | | 2 | | |
| DV家庭での育成 歴 | 3 | 1 | | | |
| 未入籍など | | | 1 | | |
| 子の 状況 | 年齢 | 乳児 | 10 | 6 | |
| | | 幼児 | 10 | 19 | |
| | | 学童 | 1 | 8 | |
| | | 多胎児/子が4人 以上 | 4組 | 7組 | |
| | | 身体・知的の疾患 | 1 | 3 | |
| 子側の 子育て 困難要 因(重複あり) | 被害経歴 | | 2 | | |
| | 不登校/きみ | | 1 | | |
| | ストレス | | 1 | | |

個別支援の成果

虐待未然防止に役立つ具体的、継続的支援は

- 1 頻繁な親子支援は子育て困難要因をより明確にすることができ、
- 2 発見から即支援することで子育て困難状態を悪化させない。

そのためには

行政にはできない民間団体の支援があり、
そして、何よりも重要なことは、行政（発見、気付き）と民間団体（支援）の連携である。

